

## 熱帯の幻想

### - 毒キノコに当たった話 -

三島 明人

もう50年近く前の話である。大学を卒業して、ブラジルに移住している先輩(Yさん)をアマゾンに訪ねた。マナウスの対岸ベラビスタ日本人移住地である。渡し船で70分ほどかかった。ガラナ、カカオ、日銭を稼ぐために養鶏、またピーマン、インゲンなどを栽培していた。

ある日、二人でとなりの、といっても2~3km先のKさん宅へお昼ごろ行ってみた。皿に盛られた何やらキノコらしきもの。

「だいじょうぶなのこれ」と私、「でも、うまいよ」とYさん「本当だ」。「現地の人に訊いたら食べられると言うんで採ってきたんだ。」とKさん。三人で酒を呑みながら今年のガラナの出来はどう、なんて話に花が咲いた。傍らを見ると一輪車に現物がまだかなりの量残っていた。

「このキノコならうちの畑の枯れ草の山によく見るよ」とYさん。まだあるかなというわけで、二人で行ってみた。あった、あったと大喜び。その晩は焚火の周りにならべたキノコに醤油をたらし酒の肴にした。「本当にうまいね、とくに茎のところの味がいいね」とYさん。その部位を柄とよぶことを私も知らなかった。



サンパウロ、日系人のトマト農場にて。昭和50(1975)年6月頃

酔うほどに、こんな近くにうまいキノコがしかも大量にあるなんて二人は大満足。また明日も採ってこようなんて、私は土間のハンモックに、Yさん2階のハンモックに....と、ここまではよかったが。

9時ごろだったかな、何とも言えない胸のむかつきで目がさめた。今まで経験したことのない、突き上げてくるような気持ち悪さ。やられた、そう思った。吐きそう、私はハンモックから降り外へ出た。でも吐けない。指を突っ込んでも少ししか出ない苦しさ、腹もねじれるように痛い。私は下を流れる小川まで這っていった。月明かりにエンゼルフィッシュがトウクナレが光を反している。きれいだ。川面に顔をうずめた。

このまま死んでしまうのかな、ま、いいか、彼女もいないし。だけど両親が悲しむだろうな、申し訳ないな、なんて考えながら遠くでサンバのリズムが聞こえている。

我に返った。そうだ、Yさんはだいじょうぶだろうか。私は戻った。Yさんも唸っていた。声をかける。「だいじょうぶ?」「あれはやっぱり毒キノコだったんだ、やられちゃったよ。下にカシャアサ(砂糖黍から造られた蒸留酒 54 度) あるだろう、持ってきてよ毒消しだ」とまた呑みだした。

それから一週間くらい吐き気、むかつき、下痢が続いた。なにも食べられない、ふらふらだ。Yさんもそうだったと思う。「Yさん、どう?」「まだ生きていますよ。」そんな会話が時々でしかない。そうして徐々に回復していった。10 kg位体重は減ったと思う。

しばらくして二人でKさん宅へ行って見た。あの後一人で呑みながらまたキノコを食べたのだろうか? Kさんは少しやつれている様に見えるがだいじょうぶだったのだろうか。Kさんははっきり言った。何ともなかった、と。またガラナ談議に花が咲く。といったところが事の顛末。



マナウスの植物園にて。昭和50(1975)年6月頃

2021年正月、私なりに検証してみようと思う。

Kさんは嘘を言ったのだろうか? 本当は自分も大変苦しんだのだろうかけど、ひとにすず

めたのが毒キノコでしたとは言えまい。そうかな? 私はそうは思わない。嘘は言っていない、つまりKさん宅で食べたキノコとYさんのところで採ったキノコは非常によく似ていたが別種であった、Yさんののが有毒でKさんのが無毒、現地の人も食べられると言っている。共に枯れ草の湿った山に生え、傘は2、3cm白に近い薄茶色、柄は10cm位で白っぽくしっかりしていて、ひだは白っぽかった様に思う。ぐらいで、ひだの粗密も、つばつばの有無もおぼえていないというより見ていないどころか知らない。当時の私がこれらの2種を区別できようはずがない。それを同じものだ、あまりにも無謀。

ではこの毒キノコはいったい何だったんだろう。形態、群生、生育場所、おいしさ(とくに柄)、ヒトヨタケ科と仮定してみる。アルコールとの相性は、Yさんも私も同じように呑み食べた。とくにYさんは柄を好んで食べていたようだ。そして二人とも中毒した。だがYさんのほうが2、3日回復が早い。何故だろう? 当時私は体重70kg弱、かたやYさんは45、6kgで小柄、同量摂取ならばYさんに不利にはたらくはずだ。なのに結果は逆、どう考えたらいいのだろうか。やはり毒消しのカシャアサが効いたのかな。

このキノコはアルコールがあってもなくても中毒したのかもしれない。ただ中毒してからアルコールを摂取し続けると毒が中和して....。そんなキノコもあっていいと思う。広いアマゾンだもの。でも、やはりこれは長年アマゾンで鍛え順応したYさんの体質によるものなのかもしれない。

#### 教訓

美味しくても毒キノコ

完全に同定できないキノコは食べない

そう簡単に人は死ぬものではない